

お詫び! 9月27日送付のパズリックコメントのやり方で「イーガフ」入力は文の前に③などの分類番号を入れることになっていますが、③は環境依存文字で使えません。単に「3」とか「分類番号3」として入れてください。



5分で読める
多忙解消紙

とやまケンキョーソ特命
多忙解消 SP

セキユリティーポリス

No. 4

これ以上の多忙化は断じて許さない...

バックナンバーが県教組のHPで読めます!

「働き方改革」で残業規制が始まる?



新しい内閣に「働き方改革担当大臣」というポストができたのを知っていますか?
働き方改革は新内閣の「最大のチャレンジ」と位置づけられ、安倍首相も気合が入っています。政府によると日本の平均労働時間は年間1729時間。ドイツやフランスよりも300時間多くなっているそうです。(ちなみに日本の先生は2615時間!! ※TALIS調査を基に県教組が試算)

政府は1人当たりの生産性の向上が人口減少下での経済成長に不可欠だとしているそうです。これによって長時間労働を規制する動きが高まるかもしれませんが、これは教育現場にとって歓迎すべき改革なのでしょうか?
リフレッシュデーそれは恐怖の水曜日 サンドースウェンデー 仕事おわらねー

管理職に「早く帰れ」と言われて困っていませんか?



現場にいると「今日はリフレッシュデー」と言って、早く帰るように急かされることがあります。でも、仕事がいっぱいで終わらないから、家に重い荷物を持って帰ることになり、とてもつらいです。「早く帰りましょう」という声かけがうれしいという方もおられますが、私のように困っている人も少なくないようです。

「早く帰れ」はザンネンな時間管理です。



「働き方改革」に先駆けて、早時退社を目標にする企業が現れ始めていますが、大きく2つに分かれているようです。①業務削減や効率化を進めた上で早時退社を推進する。②ただ「早く帰れ」という。後者の企業では、結局家に持ち帰って仕事をするなど社員の戸惑いも大きいようです。しかも残業手当は出ないのでかえってブラック化が進んでしまいます。学校ではどうでしょう。無定量の仕事を与えられた学校で、削減がないまま「早く帰れ」と言われてもペースが乱れ、持ち帰りなどのコストが増えるだけ。その日は早く帰っても、次の日その分も残業しなければいけないなら仕事を抱えたストレスがたまります。

多忙解消SPメンバー紹介 今回は「秋の楽しみといえば」



						
委員長 佐幸明 白木峰(八尾)に登ること	書記長 能澤英樹 サンマに山盛りの大根おろし	高岡支部担当執行委員 角谷壮績 ドライブ紅葉狩り	魚津支部担当執行委員 大上戸剛司 幼、小、中、地区4週連続の運動会	富山支部担当執行委員 松本智子 ふとんに入って読書	砺波支部担当執行委員 湯浅慎治 すき焼き秋色の風景	特別支援担当執行委員 杉本一美 秋の味覚(柿、栗、りんご、さつまいも)

働き方に対する意識改革を進めましょう!

企業では、優れた管理職は「何をするか」と同じように「何をしないか」(無駄の削減)を考えます。負担が大きい部署の仕事を他に振り分けるシェアリングも有効です。もちろん、一人ひとりの仕事ぶりを見ながら効率よく仕事を進めるための助言・指導も欠かせません。学校でもそんな実効ある早時退勤のとりくみが進められるといいです。

そして、私たち自身も少しでも仕事を早く終わられるように意識改革をしましょう!

自分の分掌の仕事を減らそう!



忙しいと行事の起案も「昨年通り」が楽だと思ってしまうますが、「やっても効果が薄いもの」「効果はあっても非常に手間がかかるもの」はやらない提案をしましょう。

私はけっこうコッソリ無くしてしまうのですが、誰も気づかなかったりします。自分のためにも同僚のためにも意外と子どもたちのためにもなっていると思います。

ノートの点検・評価をスピーディーに!



こまめに朱書きを入れるのは素晴らしいことですが時間もかかります。机間指導やノートを受け取る時、返す時などに言葉で伝えれば朱書きの必要はありません。また、シールや花丸、ABCでも子どもは見てもらったことを受け止めます。ちなみにABCよりA、AA、AAAの加点方式の方が喜ばれます。

パソコンが分からなくなったら叫ぼう!



「エクセル」や「ワード」がバージョンアップするたびにボタンの位置が変わってしまっていて分からなくなる時があります。バージョンアップしなくても分からなくなる時もあります。そういう時は「誰か教えてー!」と叫びましょう。これが一番早いです。同僚性も高まります!

管理職やベテランから学ぼう!



「早く帰れ」と言われたら管理職から学ぶチャンス。「あとプリントの〇つけとノートの朱書きと教材作りをしないと明日の授業ができないんですけどどうすればいいでしょう?」「締め切りが明日なんですけどどうすればいいでしょう?」と聞けば、経験もスキルも高い管理職の方はよい方法を教えてくれるに違いありません。ピンチはチャンス! それから、早く帰るベテランはいろいろな知恵をもっているはず。聞いたらいろいろ教えてもらえますし、会話も増えて同僚性も高まります。これも組合活動です!

皆さんの「早く帰る工夫」をぜひお寄せください!

ナイスアイデアを本紙に掲載いたします。掲載された方にはQUOカード1000円分進呈。

富山県教職員組合 電話 076-441-4451 メール ttu@room.ocn.ne.jp

編集後記

本紙「SP」が県教組のウェブサイトで見られます(「富山県教組」で検索→SPのバナーをクリック)。読んでない号があればぜひ!(編集長 能澤)

多忙反対! 家庭第一のイクメン教師 剣マモルが行く!

それってリフレッシュ?の巻

